

すみだ医師会立看護専門学校 高等課程

※問題用紙と解答用紙に受験番号・氏名を記入して双方を提出しなさい。

平成二十四年度入学試験問題 国語

受験番号	氏名

一 次の①～⑦の傍線部の漢字の読みをひらがなで書き、⑧～⑮の傍線部のカタカナの部分の漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| ① 人の忠告を <u>疎</u> かにしてはいけない。 | ⑧ 人ごみに <u>マギ</u> れて彼の姿を見失ってしまった。 |
| ② このまま引き下がるのを <u>潔</u> しとしない。 | ⑨ 考え方の <u>カタ</u> ヨった人とはつき合にくい。 |
| ③ 注文した品が <u>瞬</u> く間に届けられた。 | ⑩ 先生のお宅を訪ねたら <u>おルス</u> であった。 |
| ④ こつこつ努力しなければ何事も <u>成</u> じしない。 | ⑪ 患者さんの質問に <u>テイネイ</u> に対応する。 |
| ⑤ 予算が <u>潤</u> 沢ではないので光熱費を節約する。 | ⑫ <u>ジュンカン</u> 器系の病気で亡くなる人が多い。 |
| ⑥ 図書館から本の返却を <u>督</u> 促する連絡があった。 | ⑬ 自分に <u>ツゴウ</u> のいいように考える傾向が誰にもある。 |
| ⑦ 過去の病気については <u>既往</u> 症の欄に記入する。 | ⑭ 結論だけでなく思考の <u>カ</u> テイを重視すべきだ。 |
| | ⑮ <u>サイケツ</u> の結果、賛成多数で原案が承認された。 |

二 次の①～③の作品群の中からジャンル（種類）が他と異なるものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。また、④⑤の作品群を成立年代順に並べる時に3番目になるものをそれぞれ記号で答えなさい。

- | | | | |
|-----------|----------|---------|-----------|
| ① ア 枕草子 | イ 方丈記 | ウ 山家集 | エ 徒然草 |
| ② ア 源氏物語 | イ 平家物語 | ウ 保元物語 | エ 太平記 |
| ③ ア 智恵子抄 | イ みだれ髪 | ウ 一握の砂 | エ 赤光 |
| ④ ア 古今和歌集 | イ 新古今和歌集 | ウ 万葉集 | エ 千載和歌集 |
| ⑤ ア 羅生門 | イ 走れメロス | ウ 坂の上の雲 | エ 吾輩は猫である |

三 次の①～⑤の四字熟語の空欄に入るべき漢字をそれぞれ後の漢字群から選びなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 意味深□ | ② 一期□会 | ③ 異□同音 | ④ 馬耳□風 | ⑤ 傍□無人 |
|--------|--------|--------|--------|--------|

長	短	東	西	南	北	一	十	百	千	耳	鼻	目	口	幼	少	若	老
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四 次の①～⑤のことわざの意味を下のア～オから選び、記号で答えなさい。

- | | |
|------------|------------------------|
| ① 棚からぼたもち | ア 立て続けに不運に見舞われること |
| ② 帯に短し褌に長し | イ 思いがけない幸運にあうこと |
| ③ 団栗の背競べ | ウ 相手に処理を一任すること |
| ④ 泣きっ面に蜂 | エ 中途半端で役に立たないこと |
| ⑤ 下駄を預ける | オ どれもみな同じで特に優れたものがないこと |

五 次に示すのは画家で詩人の辻まことの『多摩川探検隊』の一節です。これを読んで後の問に答えなさい。

地理付図という教科書らしからぬ本が魅力的だった。小学校五年生の新学期だった。数学でもないし、色つきだ。頭のぶくなくる本じゃない。夏休みになるまでに私は地理付図にかなり精通したようだ。

夏休みは毎年、外房州夷隅郡大原町字根方^{（おきかた）}という漁村にある弟の家に行く。弟の家というのでは判りにくからうが、つまり弟が養子になった家のことだ。いつも夏休みにしか会わない弟などは変なものだ。①九十九里とは嘘つパチである。私は地理付図の権威を背景にしてイナカツペエをやつつけた。弟は郷土の誇りをゲンコツで護る。水泳と喧嘩は土用波に追われて帰京するまで、夏休み前半の日課だった。地理付図の使徒は苦難を経て、いよいよ（A）厚くなっていた。

この多摩川の源はどこでどんなになっているのか？ 砂利舟で②甲羅を干していた仲間の一人が私にいった。夏休み後半の一日だ。それはどんな景色のところか？ 付図に精しくても地理についての無知が露呈し、私の権威はいっぺんに地に堕ちた。付図と私の権威を守るために、③多摩川は私によって実証されなければならない運命と相成った。探検隊は、はじめ五人によって編成された。

いよいよ出発の朝になったら、所定の集合地点に現われたのは所君という靴屋の息子と私だけだった。悲壮な探検隊長は尻込みをする隊員を励まして、多難なる前途に向って進んだ。二子玉川で橋を渡り、溝の口から神奈川県側の土手を歩く。最初のヒルメシは携帯したアンパン。食後川にはいつて泳ぎ、しばし（B）を忘れる。

軒先きにくつもの提灯がさがり、灯がともる。二階建ての角店の料亭。階下はすつかり戸を取払って赤い毛氈を敷いた縁台がならんで、街道は涼しく水が打たれている。疏水の岸の柳の緑が艶であった。不思議に人影の記憶がない。しかし夢ではないのだ。探検隊は実に期待以上の収穫を第一日にして、すでに得た。われわれはもはや稲田登戸について、④付図の一地点の奥行きについて、誰に向っても不安なく語ることができるのだ。隊長は隊員の肩を叩いた。心細げな隊員の顔も、この言葉によってパツと明るくなった。（C）。

一体こんな夜道をどこへ行くのだね？

左から山が暗くのしかかり、行手に一点の灯もなく、疏水の流の音ばかり。そんな片側道で、自転車に呼び止められた。巡査は、駐在所でもある自宅へ探検隊を案内した。住所、家族、荷物、所持金などが調査された。隊長はアフリカ蕃地における探検隊の記録を回想し、隊員は西遊記における三蔵法師の苦難を思ったそうである。

今夜はもう遅いし、腹も空いているだろうから泊っていきなさい。野宿よりはいいだろう。

現住民は親切である。巡査は、晩酌で赤くなった。この探検の成功を祈るといった。八王子で明日この地図を買いなさいと五万分之一と二十万分之一の陸測の地図を出し、記号と見方、それにタタミ方まで教えてくれた。地理付図と隊長のプライドは、いささか傷つけられた気味だったが、この忠告には新しい魅力があった。

食後、巡査の二人の息子、六年生と四年生の坊主は、この二人の探検隊の勇気を見ならえという長々しい説教を食うハメとなり、大いに鼻白んでいた。巡査夫人は、⑤女らしくいささか見当違いの哀れみをもって、われわれに同情し、翌朝出発のときには、大きなムスビを三個ずつ包んでくれた。

問一 本文中の（A）（B）（C）に入るべき最も適當なことはそれぞれアウオから選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|----------------|-----------------|-----------------|----------|---------|
| A | ア 信仰 | イ 信頼 | ウ 人情 | エ 友情 | オ プライド |
| B | ア 夏休みの宿題 | イ 旅の疲れ | ウ 探検の苦しさ | エ 日が暮れるの | オ 探検の事業 |
| C | ア 今日は実に楽しかったなア | イ 皆を連れてくるべきだったな | エ ここまでくればもう大丈夫だ | | |
| | ウ こなかった奴はバカだなア | | | | |
| | オ また明日もがんばろうな | | | | |

問二 傍線部①に「九十九里とは嘘つパチである」とあるが、なぜ「嘘つパチである」というのか、説明しなさい。

問三 傍線部②の「甲羅を干していた」とは仲間が何をしていたのか、次から最も適當なものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------|
| ア | 捕まえた亀の甲羅を干していた | エ | 砂利をとる舟で遊んでいた |
| イ | 舟でとった海老を干していた | オ | 腹ばいになって日光浴していた |
| ウ | 蟹をとって舟の上で干していた | | |

問四 傍線部③の「多摩川は私によって実証されなければならない運命と相成った。」を「私は」を主語にして書き換えなさい。

問五 傍線部④の「付図の一地点の奥行き」の内容を具体的に述べているのはどこか、その部分をはじめの五字で指摘しなさい。

問六 傍線部⑤の「女らしくいささか見当違いの哀れみをもって」からうかがえる主人公の気持ちとして最も適當なものを次から選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|--------------------|---|--------------------|
| ア | 女性らしい優しい心の持ち主である | エ | 探検が自発的な行動だとわかっていない |
| イ | 浅はかな女の勘違いで気の毒なことだ | オ | 二人の息子よりずっと立派な少年たちだ |
| ウ | 可哀そうな境遇の少年への同情心がある | | |

六 次に示すのは聖路加国際病院理事長の日野原重明の『生き方上手』の一節です。これを読んで後の問に答えなさい。

患者さんの話を聞くことに始まる医療において、たとえば咳をするとからだが痛むという人に、「痛いのは肩甲骨のあいだ？ 鎖骨の下？」と質問せめにするよりも、「痛いのはここですか。ここ？ ああ、ここですね」と、患者さんのからだに手で触れてみる。手のひらから患者さんのからだの声を聴き、眼差しや接する姿勢でこちらの思いを伝える。ことばは言うに及ばず、①五感をフルに使う。これが医療者に求められるコミュニケーションだと思っています。単なる情報伝達であっていいはずはありません。目指すは、母親の、魔法のような手。どなたにも幼いころに覚えがあるでしょう。熱のある額に手を触れただけで気分が楽になり、痛みはすのお腹をさすつてもらうと痛みが薄れた。医療の原点は、②「手当て」にあります。コミュニケーションの力を源をここに感じずにはおれません。

私が尊敬する医師ウイリアム・オスラーは、「医学は」

「と言いました。サイエンスは科学と訳せるで

しょう。一方、アートとは技、つまり一人ひとりの患者さんにどのようにアプローチするか、タッチするかということです。サイエンスが病そのものを客観的かつ冷静に見つめるのに対して、アートは患者さんの心に繊細な感性でふれようとするものです。サイエンスとしての医学がたとえお手上げとなっても、アートの部分は生の最後の瞬間までかぎりなく提供し続けることができます。本来この2つの側面をあわせもつべき医療が、現代ではテクノロジー本位に陥りがちであることは否めません。患者さんにどのようにタッチするか、その人生観や経験に裏打ちされた、患者さんの「いま」の思いをいかに聞き出し、どのように重んじるか。臨床の医師や看護婦には、そうした③心に迫るコミュニケーションが欠かせないと、私は長年にわたって強調してきました。心に迫るコミュニケーションというものは、実行しようと思いつたその日からすぐにできるといえるものでもありません。人にとってよく調子を合わせるテクニックではないからです。すでに二十世紀の初頭、ナイチンゲールは看護婦の卵の学生たちに向って、感性の必要性を説いています。感性のあるなすがコミュニケーションの能力にかかわるからです。「わが子を失うというような、あなたには経験のない悲しみにも共感できなければならぬ。その感性がないのなら、看護婦になるのはやめなさい」という意味のことばを語っています。厳しいまでの助言です。

彼女は、感性はあくまで a a へな資質であつて、b b へに獲得しえないと思つていたようですが、私は、人の素質も環境によつて刺激され育ちうると信じています。誰でも、感性が貧しいことはあつてもゼロということはありません。ですから磨けばよいのです。ただ憂うべきは、④いまほど感性を育てにくい時代もないだろうということです。ぜいたくや便利さに慣れてしまうと、感性はどうしても鈍ります。他人の痛みはどこまでも他人のもの。たとえ気の毒に思うことがあるにせよ、ほんの一瞬で、次の瞬間には忘れてしまいます。この世に生を受けたことを感謝する謙虚さなど、はたしてどこに置き忘れたのでしょうか。最も有効な、感性の教育があるとすれば、それは自らが苦しみ、涙する思いを味わうことに尽きます。⑤はやりのバーチャル・リアリティー(仮想現実)ではだめなのです。生身の体験が多いほど、感性は育ちます。大病の苦しみや近親者の死に幸いにして遭遇していないのなら、せめて、努めて多くの人に接し、自分にはない経験を間近に見聞すべきでしょう。存分に想像力を働かせ、相手の心の内に飛び込む思いをもちながら。

機会があるなら幼い子どもを a A へや、b B へに連れて行きなさい、と私が申し上げるのも、それが感性を育てる学習になりうるからです。そうした経験のなかで、たとえば他人の心にふれることばをいかに紡ぎだし、どのような眼差しで、いかなるタイミングに発すべきかを、徐々に体得するのです。

問一 本文中の a a へと b b へには対照的な意味のことばが入ります。それぞれを漢字三字で書きなさい。

問二 本文中の a A へと b B へのそれぞれに入るべき最も適当なことばを次のア～キから選びなさい。

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| ア 厳しい自然の中 | イ 老人福祉施設 | ウ 病人の見舞い | エ 美しい森や湖 |
| エ 特別支援学校 | オ 通夜や葬儀 | カ 結婚式 | キ 公園や遊園地 |

問三 本文中の「」に入るべき最も適当なことばを次のア～オから選びなさい。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ア サイエンスでありかつアートでもある | エ サイエンスというよりはアートである |
| イ サイエンスに支えられたアートである | オ サイエンスの一部としてのアートである |
| ウ サイエンスを超えたアートである | |

問四 傍線部①の「五感」とは五つの感覚のことだが、「嗅覚」「味覚」以外の三つとは何か、それぞれを漢字で書きなさい。

問五 傍線部②の「手当て」に原文でカッコが付いているのは、母親が子に手を触れる意味の「手当て」のほかにも、もう一つの意味を意識しているからだと考えられます。そのもう一つの意味とはどういうことか、説明しなさい。

問六 傍線部③の「心に迫るコミュニケーション」と対照的なコミュニケーションを筆者はどのように表現しているか、本文中の十字以内の語句を抜き出して答えなさい。

問七 傍線部④でいまは感性を育てにくい時代だと筆者は言っているが、その理由を本文中の表現を利用して説明しなさい。

問八 傍線部⑤の「はやりのバーチャル・リアリティー(仮想現実)」とはどういうものか、説明しなさい。

受験番号
氏名

得点

④	③	②	①
⑧	⑦	⑥	⑤
⑫	⑪	⑩	⑨
	⑮	⑭	⑬

①×15

二

①
②
③
④
⑤

①×5

三

①
②
③
④
⑤

①×5

四

①
②
③
④
⑤

①×5

五

問一
A
B
C

③×3

問二

--

③

問三

--

③

問四

--

③

問五

③

問六

--

③

六

問一
a
b

②×2

問二
A
B

②×2

問三

--

③

問四

①×3

問五

--

③

問六

③

問七

--

③

問八

--

③

--

--

--

--

すみだ医師会立看護門学校 高等課程

平成二十三年度入学試験問題 国語

受験番号

氏名

一、次の傍線部の漢字の語の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① 折角の皆既食を見逃した。 ② 時代錯誤も甚だしい。 ③ 苦渋に満ちた表情をしている。
④ 彼は逸話の多い才人だ。 ⑤ 保湿薬を塗布する。 ⑥ 交通規則を遵守して運転する。
⑦ わけがあつて素性を明かせない。 ⑧ 長い峡谷の先に宝物殿がある。
⑨ 社会に出て初めて辛酸をなめた。 ⑩ 脈絡のない話で申し訳ない。

二、次の文は有名な詩あるいは小説の書き出しの部分である。それぞれの「Ⅰ題名・Ⅱ作者名」を答えなさい。作者名は、後の「注」を参考にして漢字で書きなさい。

- ① ゆりかごのうたを、カナリヤが歌う、よ。ねんねこ、ねんねこ、ねんねこ、よ。
② 名も知らぬ 遠き島より 流れ寄る 椰子の実ひとつ 故郷の岸を はなれて なれはそも波に幾月
③ 雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ 欲ハナク 決シテ怒ラズ イツモシズカニワラツテキル
④ ある日の暮れ方のことである。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下には、この男のほかにはだれもない。
⑤ 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。

「注」 あくたがわりゆうのすけ かわばたやすなり きたはらはくしゅう
しまざきとうそん みやざわけんじ

三、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（「父」は、絵かきになりたかったが、若い頃、海軍に入ることを決意した。）

おなじような瞬間が息子のわたしにも訪れることになった。わたしは父が反対するのはよくわかっていたが、①もう決めていた。父ばかりか母も息子の計画に不服でしきりに父をそのかしていた。夜、茶の間の電灯の下で、絵かきになりそびれた過去をもつ父親は息子の顔を穴のあくほどみつめた。「文学部へなんか行つて、一体何をするんだ？」

わたしはしばらく考えてから、物を書く人間になるんだ、と②言つてやった。

すると父は大きな咳払いを一つしてから、せせら笑うように言った。

「物を書くって何を書くんだ？ 書くことなどないじゃないか。」

書くことがないと言われてわたしはカッとなつてしまった。あとの話はろくに耳に入らなかった。「とにかくもう決めたんだから。」わたしは最後にそう言い捨てて席を蹴るように父のそばから離れたが、父が③横にいる母をつかまえて、

「何もわかつちやいないんだ、あいつは……」などと憐れむように言っているのが聞こえた。

父の言い分では、小説なんて書きたきやいつでも書ける、だから今は法科か経済に行つて少しは世の中のことを勉強しろ、というわけだった。そして自分が若い頃読んで知っている文豪の名前を三つも四つも挙げて、お前の書くものなど読めたものではないだろうと言うのだった。

わたしはその晩からなんとなく父親に④弱味を見透かされているような気がして、父と話をする機会を避けて回っていた。父のほうではその間、息子の思いつめたような表情に⑤若い日の自分の姿を重ね合わせてみることも一度や二度はしたにちがいない。とにかく父は無然としていた。

入試の発表は三月の二十二日だった。わたしは隣の町で草野球の試合に出場していて、朝から家にいなかった。陰気な受験の冬がおわつて、野球のほうもシーズン初めての試合だった。わたしは自分で東京まで発表を見に行く勇気がなかったから、メンバーが足りなくて狩り出されたのいいことに真っ先に出てきていた。風がまだ冷たくてわたしは薄着のユニフォーム姿でふるえていたが、⑥ふるえる理由は他にもあるようだった。

問一 傍線部①とあるが、何を「決めていた」のか。十五字以内で説明しなさい。

問二 傍線部②での「わたし」の心情として最も適切なものを、次より選んで記号で答えなさい。

ア わたしの考えを理解しようとしないうちに父親に強く反発する気持ち。

イ 言うだけのことは言つて父親の意見を聞く余地はないという気持ち。

ウ 虚勢を張つてなんとかその場を切り抜けようという気持ち。

エ 自分のは自分で決められるという強い自信のある気持ち。

問三 傍線部③とあるが、ここでの「母」の心情として最も適切なものを、次より選んで記号で答えなさい。

ア 息子に同情的であるが、父親の意見にもうなずける点があると考ええる。

イ 父親が意見したために息子との仲が悪くなることを心配し、おろおろしている。

ウ 父親の説得の仕方に不満であり、自分で説得することを決意している。

エ 息子の考えに対して不満で、父親の説得がうまくいかないことに失望している。

問四 傍線部④とあるが、どのような「弱味」か。最も適切なものを、次より選んで記号で答えなさい。

- ア 入試に合格するための学力不足。
- イ 学力不足で法科や経済を志望できない事情。
- ウ 将来についての打算的な展望。
- エ 将来物書きになるという見通しの甘さ。

問五 傍線部⑤とは何か。解答欄にあてはまる十一字～十五字の表現を本文から抜き出して書きなさい。

問六 傍線部⑥とあるが、どのような理由が他にあったのか。最も適切なものを、次から選んで記号で答えなさい。

- ア 大学の入試に合格していないのではないかと不安だったから。
- イ 大学に合格しても物書きになれないのではないかと心配だったから。
- ウ ひさしぶりの野球で活躍できないのではないかと不安だったから。
- エ 東京まで入試の発表を見に行くべきであったと後悔したから。

四、次の文章は、本年十月には百歳となる日野原重明・聖路加国際病院理事長の九十歳の時の著作『生きかた上手』の中の一章である。読んで後の問いに答えなさい。

人生の師オスラーに出会って、私は、本当の臨床医とは何かを知りました

昭和十六（一九四一）年、聖路加国際病院の内科に①フニンした年に太平洋戦争が始まりました。私は②ハイに影があつたために③シヨウシュウは受けないまま、終戦まで戦火のなかを④シンサツに追われて過ごしました。

終戦後、それまで目にふれることのなかったAアメリカ医学の最新⑤ザツシが、日本にどつと入ってきました。私はむさぼるように、それを夜遅くまで病院の図書室で読みました。

「I」「オスラーはこう言った」というくだが、いろいろな⑥ブンケンに出てくるのです。関心を引かれて調べてみると、Bなるほどすごいことを言っている。いままで学んできたドイツ医学とはまるで感じがちがう。目からうろこが落ちる思いでした。

ウィリアム・オスラー（一八四九～一九一九）はカナダ生まれで、アメリカのジョンズ・ホプキンス大学の医学部をつくり、アメリカのレジデント（有給の実習医）制をつくった教育熱心な内科教授で、彼の内科書は世界の六か国に⑦ホンヤクされたものでした。私がオスラー教授の名前を知ったときはすでに故人でしたが、アメリカでは知らない人がいない、Aアメリカ医学の祖です。私が医者になってよかったと心から思えたのは実はオスラーの生涯を知ってからのことで、オスラーを知って私は本当の臨床医とは何かがわかったのです。

自分が何に向いているかというようなことは、ぶつかってみてからでないとわからないものです。「II」「初めの一步はそんなに深く悩んだり迷うことはないのかもしれない。III」「思い切つて飛び込んだ場所です、わからないなりに一所懸命やっていたら、道がひらける。私が人生で体験したことを、進路に悩む若い人たちに伝え、元気づけてあげたいと思います。

アメリカ医学は、ひと言で言えば、患者を非常に尊重します。医者と患者の関係は、あくまでも対等です。医者は、病む「臓器」ではなく、病んでいる「人」をみるのだから、人間に深い興味と関心、難しく言えば、愛がなければ臨床医はつとまらない、とオスラーは言っています。

私が一年間病気をしたことも、学生時代に文学や哲学や音楽に心魅かれて進路に悩んだのも、すべて、よい臨床医になるにはむだではなかったと言えそうな気がします。数学や物理だけよくできても、Cよい医者にはなれないのです。

アメリカ医学をこの目で見たい。念願がかなったのは昭和二十六（一九五一）年、私はもう三十九歳になっていました。

問一 空欄「I」～IIIにはいる適切な語を次より選んで記号で答えなさい。

- ア ところが イ むしろ ウ そうすると エ ですから オ やはり

問二 傍線部①～⑦のカタカナの語を漢字で書きなさい。

問三 表題の「人生の師」とするオスラーの業績を具体的に表現した語句を本文中から指摘し、その始めと終わりを十字ずつで答えなさい。（記号も字数にいれること）

問四 傍線部Bの「すごいこと」に当たるオスラーの言葉を本文中から指摘し、その始めの十字を答えなさい。（記号も字数にいれること）

問五 「ドイツ医学」と違う傍線部A「アメリカ医学」の特徴を最も端的に表す語句を本文中から指摘し、十五字以内で答えなさい。

問六 筆者がC「よい医者」になるためによかったと考えていることに合わないものを、次から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分自身が大病の経験をしたこと。
- イ 医学と直接的には関係しない勉強をしたこと。
- ウ 理数系の勉強をそんなに重視しなかったこと。
- エ 先人の業績や最新の情報をとりいれたこと。

高等課程

解答用紙

受験番号

氏名

得点

⑨	⑤	①
⑩	⑥	②
	⑦	③
	⑧	④

□

二

⑤	I
③	I II
①	I II
	④ I II
	② I II

三

[illegible]

の自分の姿

四

問六	問五	問四	問三	問二	問一
				⑤	I ①
					II
				⑥	②
					III
				⑦	③
					④

すみだ医師会立看護専門学校 高等課程

平成二十二年度入学試験問題 国語 受験番号

氏名

一、次の傍線部のカタカナの語を漢字に改めなさい。

- ① 玉ねぎのサイボウを観察。 ② シンチヨウに事を運ぶ。 ③ 車でジョコウする。
 ④ 仏前でガツシヨウした。 ⑤ 長男がタンジョウした。 ⑥ ブツダンに花を供える。
 ⑦ 商売ハンジョウを折った。 ⑧ セイケツな感じがよい。 ⑨ 新人をカンゲイする。

二、次の傍線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① 将来を嘱望されている。 ② 弱者の人権を擁護する。 ③ 煩雑な作業をする。
 ④ 遺漏のないように注意する。 ⑤ 適切な措置をとるべきだ。 ⑥ 体裁を気にかける。

三、次の文の傍線部の語を正しい敬語動詞に改めなさい。

- ① 今、お客様がそちらにうかがいます。 ② あなたは夕食に何をいただきましたか。
 ③ 多数の祝電、参っております。 ④ 父がよろしくとおっしゃっていました。
 ⑤ 私は先生にお礼の手紙をおやりになった。

四、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ところが、迎えに来てくれるはずの父親から、ナースステーションに電話が入った。「今日はどうしても抜けられない仕事が入っちゃったから、バスで帰って、つて」看護師さんから伝言を聞くと、①泣きだしそうになってしまった。今日は財布を持ってきていない。回数券を使わなければ、家に帰れない。

母親の前では涙をこらえた。病院前のバス停のベンチに座っていると、必死に唇をかんで我慢した。だがバスに乗り込み、最初は混み合っていた車内が少しずつ空いてくると、急に悲しみが胸に込み上げてきた。シートに座る。窓から見えるきれいなまん丸の月が、じわじわとにじみ、揺れはじめた。座ったままうずくまるような格好で泣いた。バスの重いエンジンの音に紛らせて、うめき声を漏らしながら泣きじやくった。

『本町一丁目』が近づいてきた。頭を上げると、車内には他の客は誰もいなかった。降車ボタンを押して、手の甲で涙をぬぐいながら席を立ち、ウインドブレーカーのポケットから回数券の最後の一枚を取り出した。

バスが停まる。運賃箱の前まで来ると、運転手が河野さんだと気づいた。それでまた、悲しみがつのった。②こんな人に最後の回数券を渡したくない。

整理券を運賃箱に先に入れ、回数券をつづけて入れようとしたとき、とうとう泣き声が出てしまった。「どうした？」と河野さんが聞いた。「なんで泣いているの？」――ぶつきらぼうではない言ったのか？」泣きながら④「、回数券を見せた。じゃあ早く入れなさい――とは、言われなかった。⑤河野さんは「どうした？」ともう一度聞いた。

その声にすうつと手を引かれるように、少年は嗚咽まじりに、回数券を使いたくないんだと伝えた。母親のこともしゃべった。新しい回数券を買おうと、そのぶん、母親の退院の日が遠ざかってしまふ。ごめんなさい、ごめんなさい、と手の甲で目元を覆った。警察に捕まってもいいから、この回数券、ぼくにください、と言った。

河野さんはなにも言わなかった。代わりに、小銭が運賃箱に落ちる音が聞こえた。目元から手の甲をはずすと、整理券と一緒に百二十円、箱に入っていた。

問一 ④に入る適切な語句を次より選んで、記号で答えなさい。

- ア 肝を冷やして イ かぶりを振って ウ 腹を割って エ 鼻で笑って
 傍線部①とあるが、なぜか。それを説明した次の文の空欄に本文中の語句をそれぞれ抜き出して入れなさい。

A (6字) を使ってしまうと、 B (16字) と思っていたから。

問三 傍線部②とあるが、なぜか。空欄に本文中の語句を抜き出して入れなさい。

河野さんは

だから。

問四 傍線部③の説明として適切なものを次より選んで、記号で答えなさい。

- ア 河野さんにしかられたように思った。 イ 河野さんに理由を聞かれなかった。
 ウ 河野さんを誤解していたと気づいた。 エ 河野さんの優しい気持ちに心にしみた。

問五

- 傍線部⑤の理由として考えられるものを一つ、次より選んで記号で答えなさい。
 ア 回数券の期限が切れていたから。 イ 何か事情があると感じたから。
 ウ 母親が病氣であるとわかっていなかったから。 エ これ以上嫌われたくなかったから。

すみだ医師会立看護専門学校 高等課程

平成二十二年度入学試験問題

国語

受験番号

氏名

五、次の文章は、現在九十九歳の日野原重明・聖路加国際病院理事長の著作『生きかた上手』の「終わりに」の中の一章です。読んで後の問いに答えなさい。

アメリカ留学をこの目で見たい。念願がかなったのは昭和二十六（一九五一）年、私はもう三十九歳になっていました。そんな年齢にもかかわらず、留学した一年間は毎日身長が伸びているのじやないかと錯覚するくらい、知的に成長しているという実感は生々しかったです。世間からすれば随分と遅い知的青春です。

アメリカの医療の水準は想像していた以上で、日本の半世紀先を行っていました。

日本の医者はお粗末な臨床能力しかもっていないのに、患者には大層えらぶっている。自分もその一人だと思ふと、身の縮む思いでした。あれも知らない、これもできない。そんな恥は留学中たくさんかきました。

留学中のエモリー大学ではポール・ピーソン内科教授に直々にお願ひして、朝七時から夕方六時まで教授にびったりとついてまわりました。夜は深夜まで病院に一人残って、昼間見聞したことを頭にたたき込みます。からだを壊さないぎりぎりというところだったでしょう。とにかく寝る間も食べる間も惜しかったのです。

アメリカ医学に出合つて、私は本当の臨床医としてまた一から出直そうという気持ちになりました。人生のどこに道しるべがあるかわからないものです。

「アメリカで学んできたことを、自分だけのものにして終わらせてはいけません。これは日本の医療全体にかかわることだ」という気持ちで、帰国してから一段と強くなっていきました。それは個人的関心事というより、使命という思いに近いものでした。そこで早速、アメリカのよいところはほとんど見習おうと、聖路加国際病院に次々に新しい提案をしていったのです。

「アメリカ、アメリカってかわないよ」

と同僚に陰口されても、ひるみませんでした。そんな私を、当時の橋本寛敏院長が陰ながら強くバックアップしてくださったことを、いまもって感謝しています。

日本の医師の臨床能力を上げる、そのために医師の教育を見直すべきだ、というのが当時からいまも変わらない私のテーマです。

学部教育ももちろんですが、医師というのは、むしろ大学を出て臨床を積んでいくうちに成長するのです。私が若いときより少しはましな医者になつているとしたら、それは大勢の患者さんに育てられたからですし、患者さんの死についていえば、四〇〇〇人もの死に立ち会えたからです。臨床医は、患者の最期の場面で最も真価が問われます。よい医者に看取られた患者は楽に死んでいける、と言われているくらいです。そういうことは大学の講義では学べません。臨床という現場に立つて体験するしかないのです。聖路加国際病院を日本一の教育病院にした、という意気込みが、当時から変わらなずわたしにはありました。

戦後五十年経ちましたが、日本とアメリカの医療の差は、残念ながらまだ二十年くらいの開きがあります。

どんな変革をするにも、日本は実現するまでに時間がかかりすぎるのも問題です。「インターン（卒後研修）制度を廃止してはいけない、むしろ質と量を充実させるべきだ」と私が一人でがんばったのはもう三十五年も前。それがやつと平成十六（二〇〇四）年度から、卒業後二年間の研修が義務化されます。

『成人病』ということばでは誤解を招く。むしろ、自分の習慣がつくる病気だということをは明らかにするには、『習慣病』と呼んだほうがふさわしい」と提案してから、実際に生活習慣病と呼ばれるようになるまでにも、二十年かかりました。

医療や福祉の改革には、もう政府や学会や医療関係者を動かすより、国民を動かしたほうが早い、というのが、このところの心境です。（一部省略）

問一 本文は大きな三段落の構成です。第二、第三段落の始めを各五文字で答えなさい。

問二 五行目の「知的青春」とはどのようなことなのか、次より選んで記号で答えなさい。

- ア 束縛から解放されて奔放に遊ぶこと
イ 自分の求める学問に熱中すること
ウ 旅行や恋愛などを存分に楽しむこと
エ 外国の自由思想や芸術にひたること

問三 日本の、アメリカとの具体的な違いを最も端的に表す一文を指摘し、その始めの五文字を答えなさい。

問四 医療の改革に大切だと考えていることを、次より選んで記号で答えなさい。

- ア 政治的に予算規模を拡大すること
イ 学会、医師会、病院、業界の大連携
ウ 産業界から多様な支援を受けること
エ 国民に提案し理解を求め続けること

問五 本文の表題として適切なものを、次より選んで記号で答えなさい。

- ア 待望のアメリカ留学とわが青春
イ 日本一の教育病院づくり
ウ 臨床医として一から出直そう
エ 日本の医療制度の大改革

すみだ医師会立看護専門学校

高等課程

平成二十二年入学試験

国語

解答用紙

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

一

⑦	④	①
⑧	⑤	②
⑨	⑥	③

--

二

④	①
⑤	②
⑥	③

--

三

④	①
⑤	②
	③

--

四

問一

問二	A	B

--

五

問三
問四
問五

問一	第二段落

第三段落

--

問二
問三
問四
問五